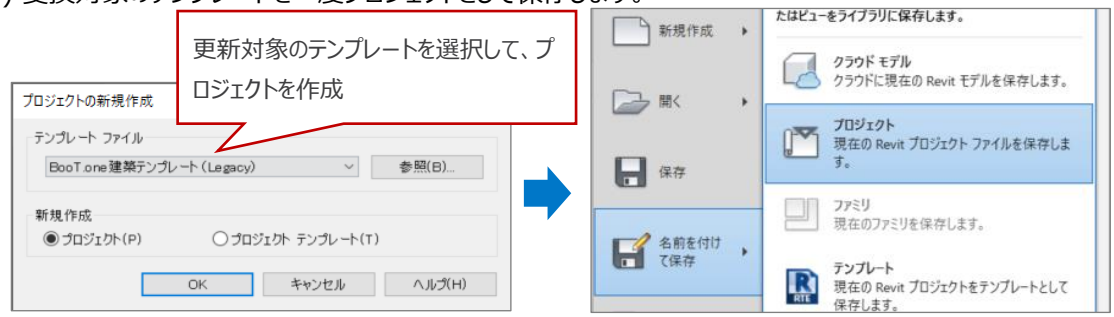
＜共通＞

[テンプレート変換]ツールを実行し、プロジェクトパラメータ、ファミリ、システムファミリ、フィルタ、マテリアル、塗潰しパターンの名称を変更します。名称変更後、自動的にオブジェクトスタイルが割り当てられます。
本ツール実行後、プロジェクトパラメータに別途対応が必要なため、後述の <プロジェクトパラメータ> をご確認ください。
その他、最後に個別対応も必要となります。本資料内の内容はご案内に沿ってご対応ください。
別紙「BooT.oneテンプレート変換手順書(任意設定) ver2.9.0.pdf」も合わせて公開しておりますが、
こちらは各社の設定内容に応じて、対応についてご判断いただけますと幸いです。

■共通手順

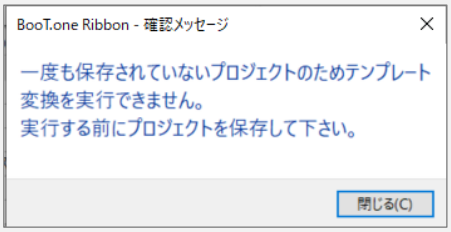
1.) 変換対象のテンプレートを一度プロジェクトとして保存します。



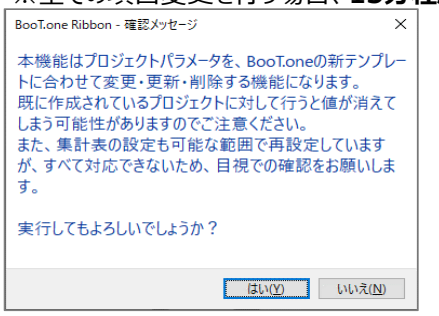
2.) [B.共通]タブ → [メンテナンス▼]パネル → [テンプレート変換]ツールをクリックします。

Tips：変換対象のテンプレートをプロジェクトとして保存しなかった場合

変換対象のテンプレートをプロジェクトとして保存せずに[テンプレート変換]ツールを実行した場合、右図のような確認メッセージが表示され、処理が実行できません。
必ず、上記手順1.) を実行してください。



3.) 確認メッセージが表示されますが、そのまま「はい」をクリックして処理を実行します。
※全ての項目変更を行う場合、**15分程度**時間を要しますのでご留意ください。

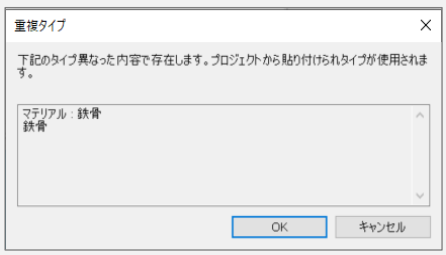


Tips：[テンプレート変換]ツールについて

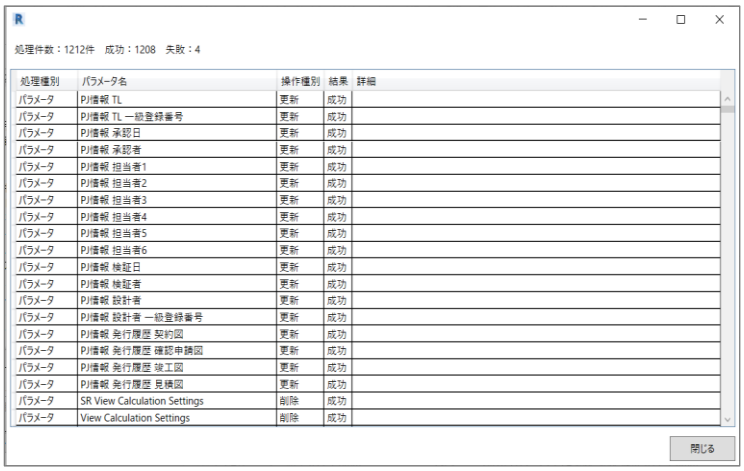
下記データを基に変更を行っております。
▼設定ファイル
B1TemplateManager.xlsx
▼格納フォルダパス
C:¥Program Files¥toBIM¥BooT.one 20**¥Programs¥B1TemplateManager
※20** = Revitバージョン

Tips：[テンプレート変換]ツール実行中に表示されるメッセージ

[テンプレート変換]ツール実行中、右図のようなメッセージが表示されます。
これはマテリアル「鉄骨」の構成がLegacy版・正式版のテンプレートで異なることが原因です。正式版テンプレートの内容で上書きするため、問題はありません。[OK]をクリックし、処理を続行してください。



4.) 実行後、実行結果のログが表示されます。ログをコピーし、Excel等に貼り付けて確認できます。



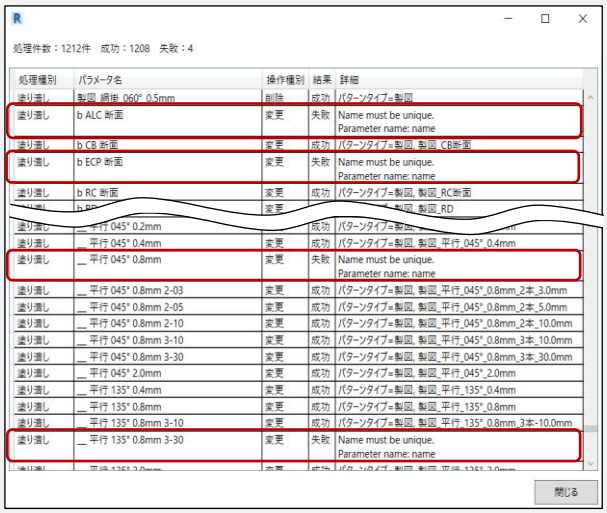
失敗になる例：
　元々のテンプレートデータ内に設定項目がない

Tips：失敗になる処理 (BooT.one ver2.9.0時点)

塗り潰しパターンにおいて、Revit 2020で4件、Revit 2021で1件の結果が「失敗」と表示されます。

表示上「失敗」となりますが、実際には正常に変換が行われているため問題ございません。

▼Revit 2020



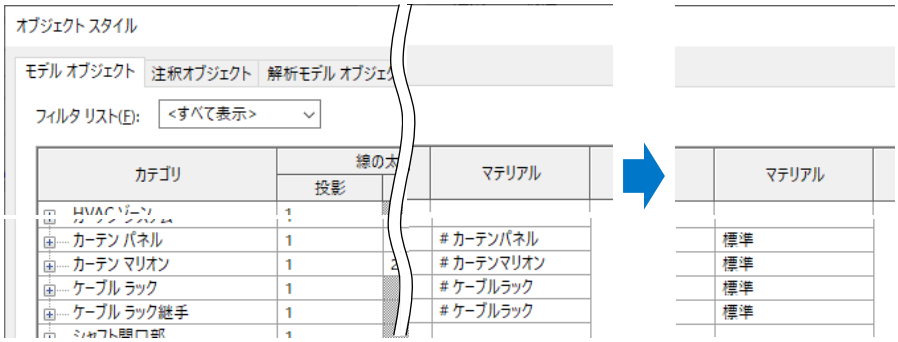
▼Revit 2021



5.) 名称変更と同時にオブジェクトスタイル設定も変更されます。

※変更内容はコンテンツサーバー内の[Contents] → [リリース関連案内 (ver.2.9.0)]内で公開しております、

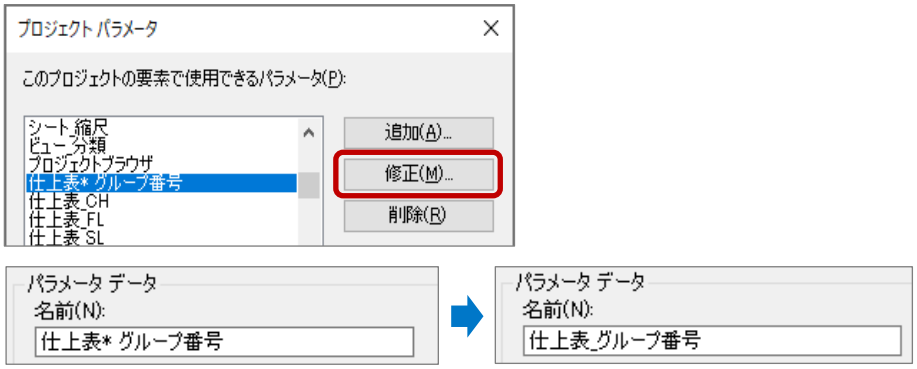
「BooT.oneテンプレート設定データ比較一覧_ver2.9.0.xlsx」をご確認ください。



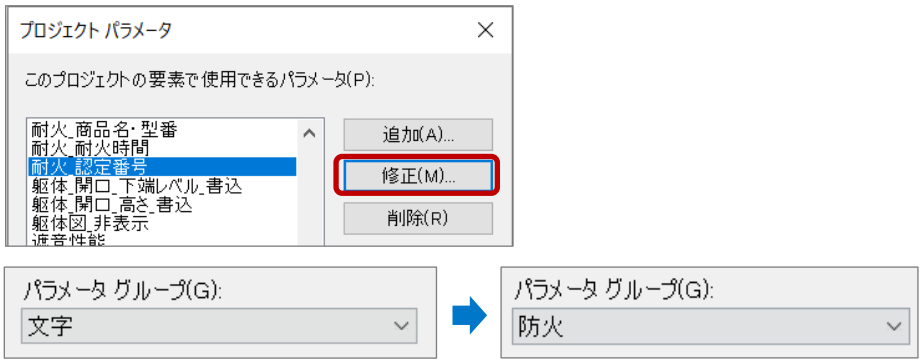
・プロジェクトパラメータを手修正([仕上表* グループ番号][耐火_認定番号])

6.) [管理]タブ → [設定]パネル → [プロジェクトパラメータ]ツールをクリックします。

7.) 「仕上表* グループ番号」の名前を「仕上表_グループ番号」に修正します。



8.) 「耐火_認定番号」のパラメータ グループを「防火」に修正します。



9.) [OK]をクリックし、ダイアログを閉じます。

10.) [テンプレート変換]ツールを実行したプロジェクトをテンプレートファイルとして保存します。
[ファイル]タブ → [名前を付けて保存▶] → [テンプレート]ツールより保存可能です。
※保存については、次ページ以降の個別修正の変更作業がまだございますので、
次ページ以降の作業を実施後、最後に保存してください。

<プロジェクトパラメータ>

集計表の書式、結合パラメータ等の設定を正式版テンプレートから再現します。

■事前準備

コンテンツサーバー内の[Contents] → [リリース関連案内 (ver.2.9.0)]内へ公開しております、
「補足_手順書参照資料.xlsx」を使用して、事前準備作業を行います。

1.) 「補足_手順書参照資料.xlsx」の[プロジェクトブラウザ]シートを参照し、該当する項目をプロジェクトブラウザから削除します。
※削除した設定は正式版テンプレートから、p.4 ■設定の再現手順 にて[テンプレート更新]ツールを実行し取り込みます。

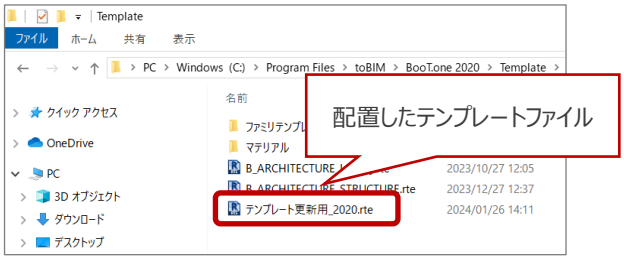
2.) 「補足_手順書参照資料.xlsx」の[サブカテゴリ]シートを参照し、テンプレート内のサブカテゴリを削除します。
[管理]タブ → [設定]パネル → [オブジェクト スタイル]を開き、
[モデル オブジェクト][注釈オブジェクト]内にある当該サブカテゴリを削除してください。

■設定の再現手順

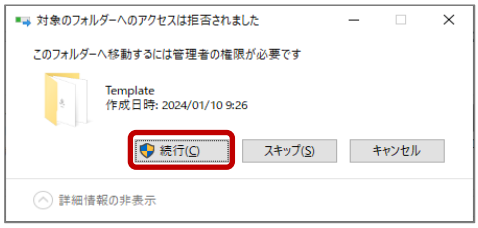
ここからは、[テンプレート更新]ツールを使用してテンプレート設定データを再現します。

1.) コンテンツサーバー内の[Contents] → [リリース関連案内 (ver.2.9.0)]内へ公開しております、
「公開資料の一括DL」をクリックし、zipファイルをダウンロードします。

2.) ダウンロードしたzipファイルを展開し、ご利用のRevitバージョンのフォルダ内に格納されているテンプレートファイルを以下のフォルダに配置します。
C:¥Program Files¥toBIM¥BooT.one 20**¥Template
※20**＝Revitバージョン（以降の手順においても同様）

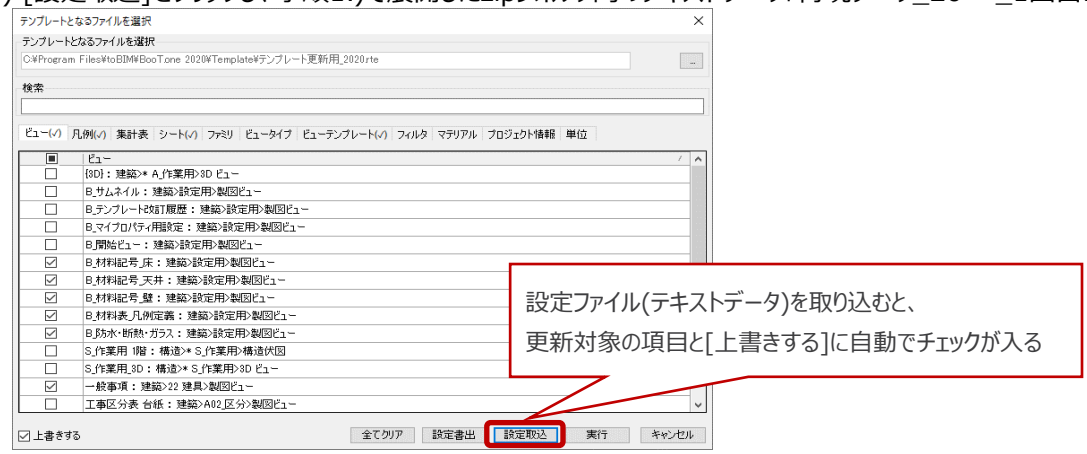


テンプレートファイルを配置しようとした際に以下の警告メッセージが表示された場合、[続行]をクリックしてください。



3.) [B.共通]タブ → [メンテナンス▼] → [テンプレート更新]ツールをクリックします。

4.) [設定取込]をクリックし、手順1.)で展開したzipフォルダ内のテキストデータ「再現データ_20**_1回目.txt」を選択します。



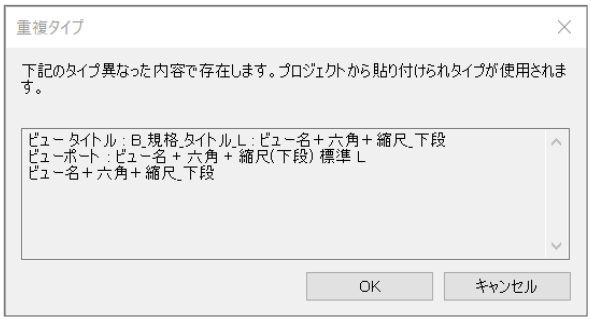
【注意】

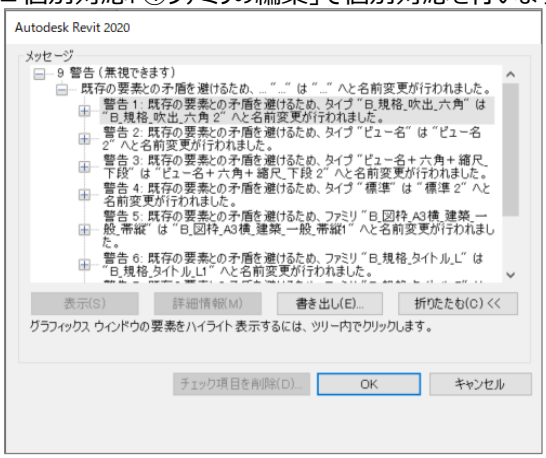
[テンプレート更新]ツールで取り込む際に集計表とビューテンプレートを同時に選択し実行すると、
集計表に設定されているビューテンプレートが外れてしまいます。※ビューのビューテンプレートは外れません。
自社独自のテンプレートにおいても同様の操作をした場合、本現象が発生するため、あらかじめご留意ください。

Tips：[テンプレート更新]ツールを分けて実行している理由

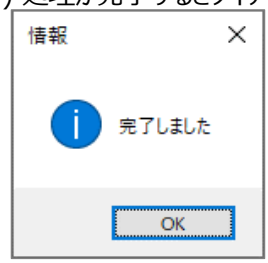
本手順では、ビュー、シート、集計表、ビューテンプレートの設定データを更新します。
前述のとおり、集計表とビューテンプレートの設定データを同時に更新しようとすると、集計表に設定されていた
ビューテンプレートが外れてしまいます。
本事象を回避するため、先にビューテンプレート(+ビュー、シート)の設定データを更新し、その後集計表の設定データを更新します。

5.) [実行]をクリックします。
※1回の実行で**5分程度**時間を要しますのでご留意ください。
※実行中、下図のような警告メッセージが数回表示されます。
これはコピー先のタイプやファミリが優先される旨を指します。[OK]をクリックし、処理を完了させてください。
なお、下記の警告メッセージに該当するファミリは、p.13 ■個別対応「④ファミリの編集」で個別対応を行います。





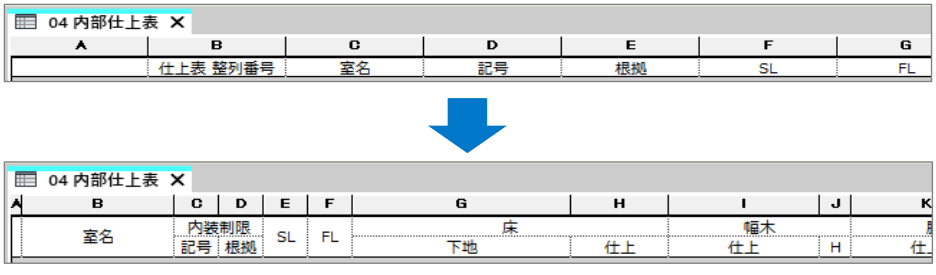
6.) 処理が完了するとダイアログが表示されるため、[OK]をクリックして閉じます。



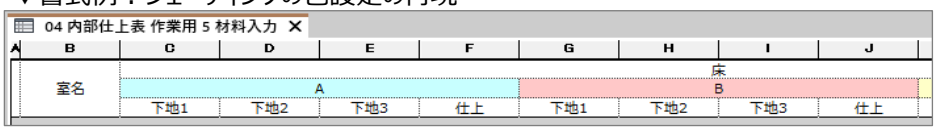
7.) 再度、[B.共通]タブ → [メンテナンス▼] → [テンプレート更新]ツールを開き、
手順1.)で展開したzipフォルダ内のテキストデータ「再現データ_20**_2回目.txt」を取り込みます。
8.) [実行]をクリックします。
※下図の警告メッセージが表示された際は、[OK]をクリックし、処理を完了してください。



9.) 処理完了時のダイアログも[OK]をクリックして閉じます。
10.) [テンプレート更新]ツールの処理が完了すると、結合パラメータ、集計表の書式、サブカテゴリの設定等が再現されます。
▼結合パラメータの再現



▼書式例：シェーディングの色設定の再現



▼ビューテンプレートのサブカテゴリの再現



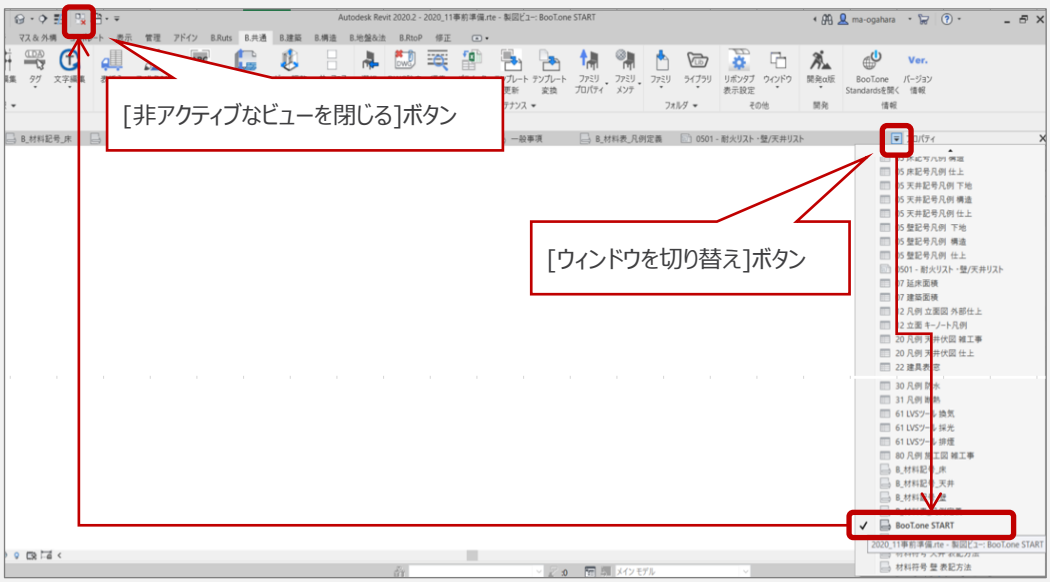
Tips：非アクティブビューを閉じる

[テンプレート更新]ツールを実行中、更新用テンプレートからコピーされた項目のビューが自動で開いてしまいます。

以下の手順を実行し、開始ビュー以外のビューを閉じます。

1.) [ウィンドウを切り替え]をクリックし、「BooT.one START」を選択します。

2.) クイックアクセスツールバーにある[非アクティブなビューを閉じる]をクリックします。



■個別対応

以下の項目に対し、追加で個別対応を行ってください。

① 集計表の編集
② ビュー/シートの編集
③ タグ記号の編集
④ ファミリの編集-1、2
⑤ プロジェクト標準を転送 による設定更新
⑥ エリアキームの削除
⑦ 塗り潰しパターンの編集

Tips：任意手順書の公開案内

本手順書とは別に各社のご判断にて任意でご設定いただく項目の手順書をご用意しています。

こちらの資料は、正式版テンプレートの書式を補完するための具体的な操作手順が記載されています。

任意の手順書につきましては、コンテンツサーバー内の[Contents] → [リリース関連案内 (ver.2.9.0)]内で公開しております、

「BooT.oneテンプレート変換手順書(任意設定)_ver2.9.0.pdf をご確認ください。

■個別対応-詳細手順

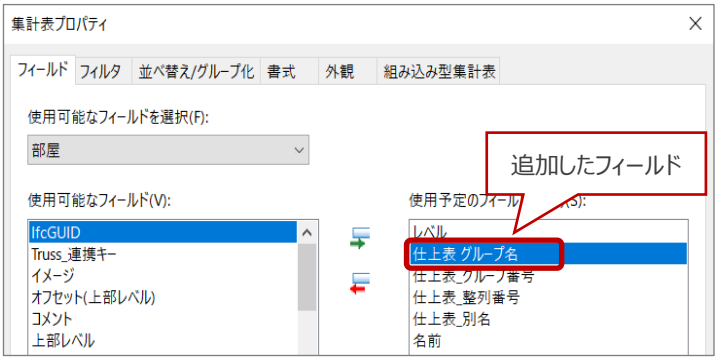
① 集計表の編集

以下の4つの集計表の設定を編集します。

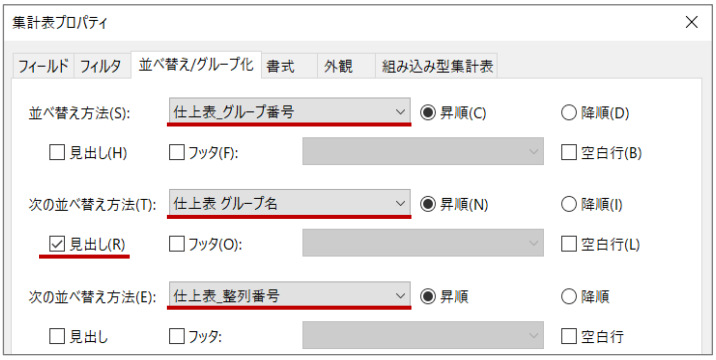
04 内部仕上表 作業用 3 整列番号

1.) 集計表プロパティ内の[フィールド]タブを開き、[仕上表 グループ名]を[使用予定のフィールド]に追加します。

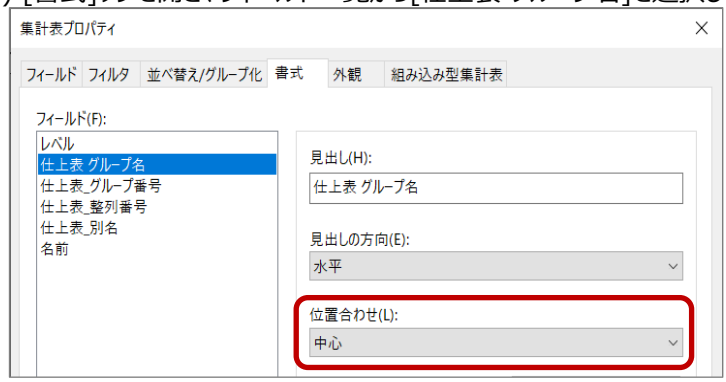
2.) 並び順を下図のように調整します。



3.) [並び替え/グループ化]タブを開き、下図のように設定します。

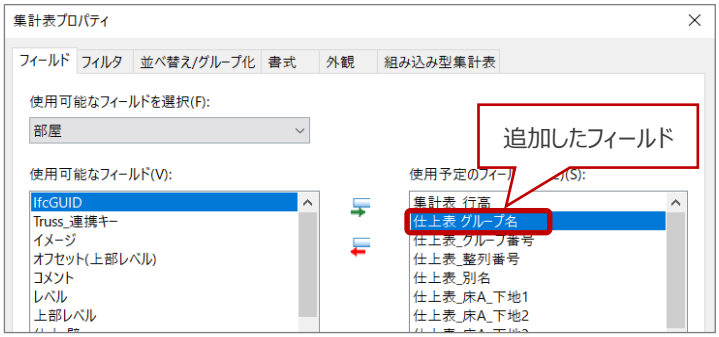


4.) [書式]タブを開き、フィールド一覧から[仕上表 グループ名]を選択し、位置合わせを[中心]に設定します。

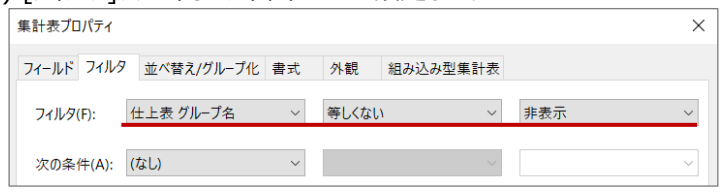


04 内部仕上表 作業用 4 材料入力 Aのみ
04 内部仕上表 作業用 5 材料入力
※集計表「04 内部仕上表 作業用 5 材料入力」はビューテンプレート「* 作業用 04 内部仕上表 材料入力」が割り当てられています。そのため、上記の[フィールド][並び替え/グループ化][書式]はビューテンプレートで設定してください。[フィルタ]は集計表のプロパティから設定を行ってください。

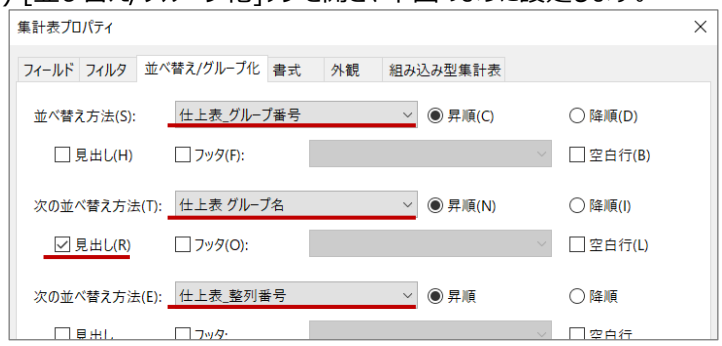
1.) 集計表プロパティ内の[フィールド]タブを開き、[仕上表 グループ名]を[使用予定のフィールド]に追加します。
2.) 並び順を下図のように調整します。



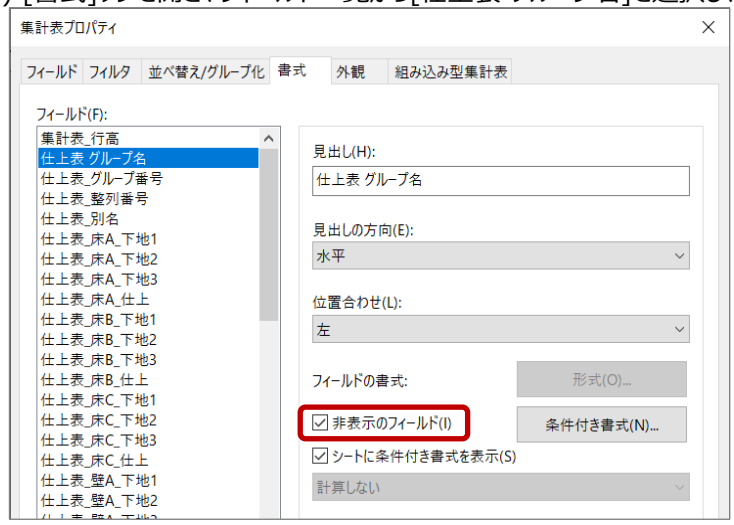
3.) [フィルタ]タブを開き、下図のように設定します。



4.) [並び替え/グループ化]タブを開き、下図のように設定します。

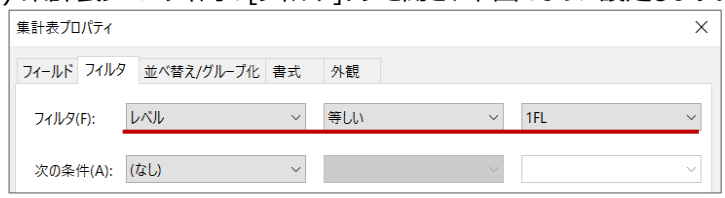


5.) [書式]タブを開き、フィールド一覧から[仕上表 グループ名]を選択し、[非表示のフィールド]にチェックを入れます。



07 延床面積

1.) 集計表プロパティ内の[フィルタ]タブを開き、下図のように設定します。



② ビュー/シートの編集

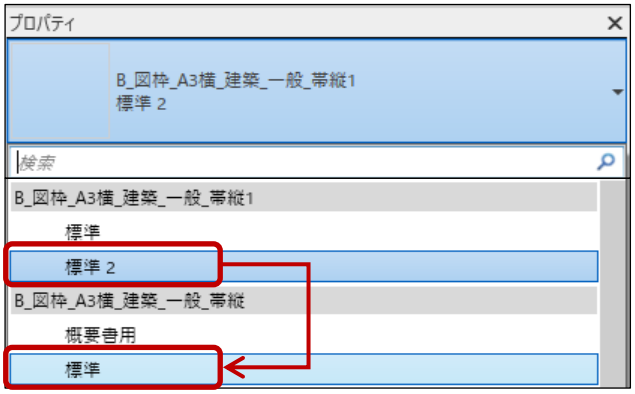
次のシートの調整を行います。

0401 - 材料表

シート → [実施図] → [0401 - 材料表]で使用している図枠ファミリを以下のように変更します。

＜変更前＞　ファミリ：　B_図枠_A3横_建築_一般_帯縦1
　　ビュータイプ：　標準2

＜変更後＞　ファミリ：　B_図枠_A3横_建築_一般_帯縦
　　ビュータイプ：　標準

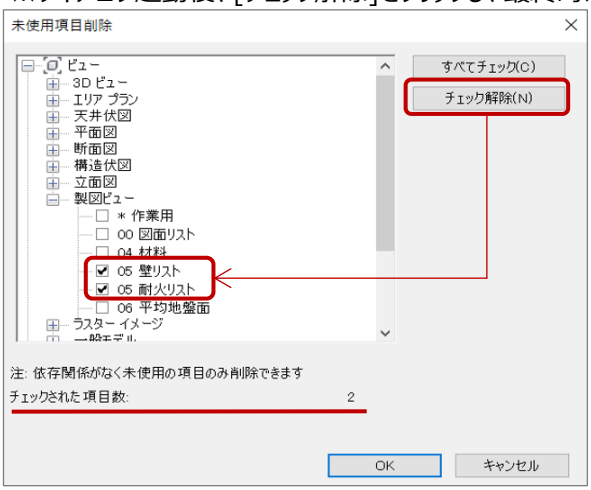


※このシートはビューや凡例を再レイアウトする必要はありません。

0501 - 耐火リスト・壁/天井リスト

1.) ビュー → 建築 → 05 耐火リスト → 製図ビュー → 耐火仕様 リスト を選択し、
プロパティより、ビュータイプを「05 耐火リスト・壁/天井リスト」に変更します。

2.) [管理]タブ → [設定]パネル → [未使用の項目を削除]ツールにて、下記2つの製図ビューのタイプを削除します。
※ダイアログ起動後、[チェック解除]をクリックし、最終的にチェックされた項目数が「**2**」になっていることを確認してください。



3.) シート → [実施図] → [0501 - 耐火リスト・壁/天井リスト]で使用している図枠ファミリを以下のように変更します。

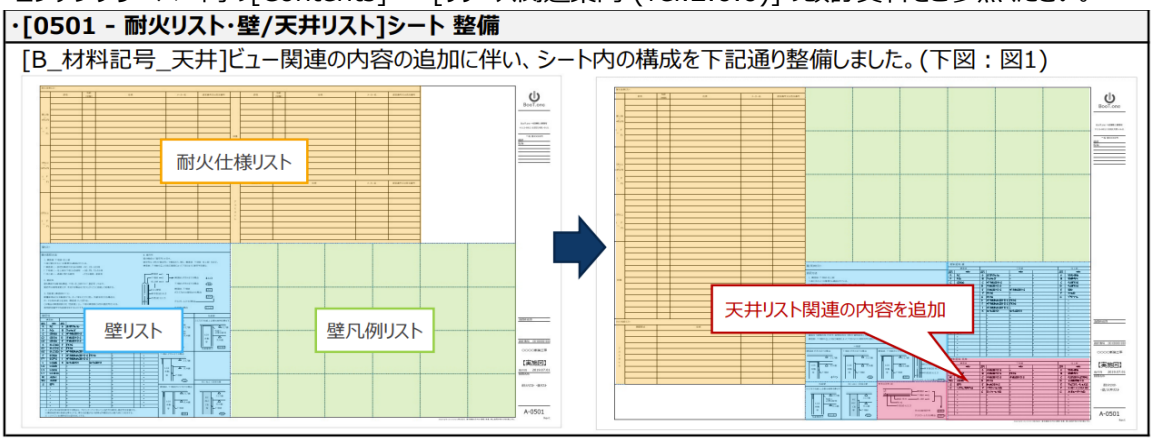
<変更前> ファミリ： B_図枠_A3横_建築_一般_帯縦1
ビュータイプ： 標準
<変更後> ファミリ： B_図枠_A3横_建築_一般_帯縦
ビュータイプ： 標準

4.) 手順3.)にて修正したシート[0501 - 耐火リスト・壁/天井リスト]内へ下記ビューを追加・再レイアウトします。

ビュー： 建築 → 05 耐火リスト・壁/天井リスト → 製図ビュー → 材料符号_壁_表記方法
建築 → 05 耐火リスト・壁/天井リスト → 製図ビュー → 材料符号_天井_表記方法
建築 → 05 耐火リスト・壁/天井リスト → 製図ビュー → 耐火仕様 リスト

凡例： 05 壁凡例

※ビューポートタイプは[非表示]にてレイアウトください。
※詳細なレイアウトにつきましては、最新BooT.oneテンプレートもしくは、
コンテンツサーバー内の[Contents] → [リリース関連案内 (ver.2.6.0)]の改訂資料をご参照ください。



2201 - 建具 一般事項(1)

1.) シート → [実施図] → [2201 - 建具 一般事項(1)]で使用している図枠ファミリを以下のように変更します。

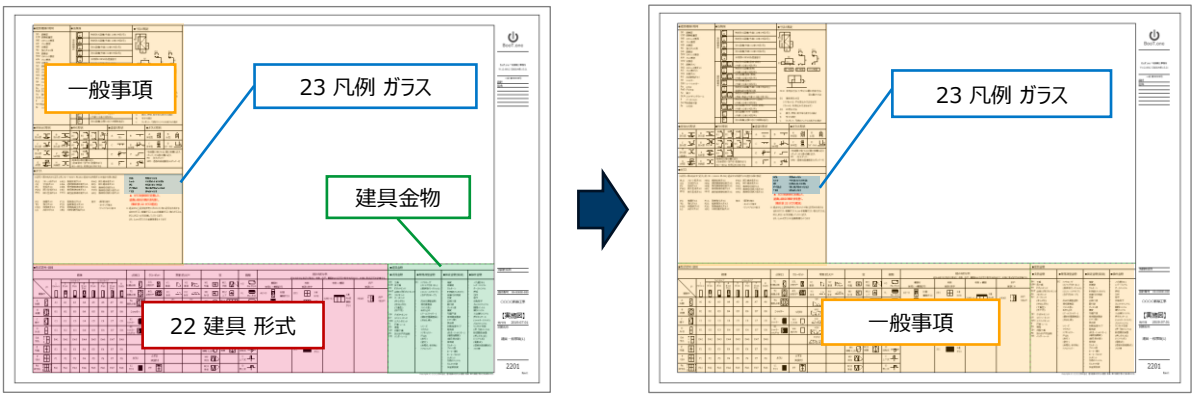
<変更前> ファミリ： B_図枠_A3横_建築_一般_帯縦1
ビュータイプ： 標準

<変更後> ファミリ： B_図枠_A3横_建築_一般_帯縦
ビュータイプ： 標準

2.) 以下のビューを、修正したシート内へ配置します。

ビュー： 建築 → 22 建具 → 製図ビュー → 一般事項

※ビューポートタイプは[非表示]にてレイアウトください。



③ タグ記号の編集

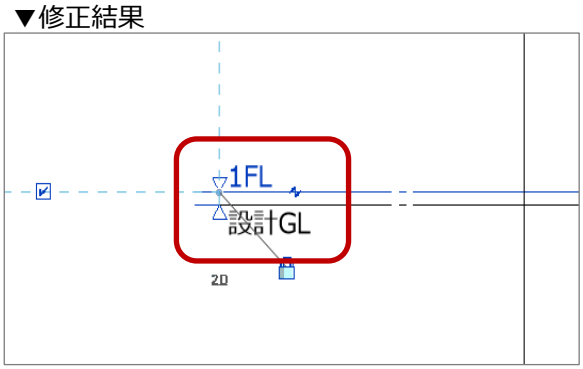
[テンプレート変換]ツールにより記号ファミリが更新され、立面タグや断面タグに設定されていた記号が外れてしまいます。
次の手順では、外れてしまった記号の再設定を行います。

<レベル記号>

1.) ビュー → 建築 → * 作業用 → 平面図 → 作業用 1階 を開きます。
2.) 開いた平面図ビュー内に断面記号を配置し、断面図ビューを作成してください。
3.) 作成した断面図ビューを開き、[建築]タブ → [基準面]パネル → [レベル]ツールをクリックします。
4.) プロパティより[タイプ編集]を開きます。
5.) タイプごとのグラフィックスを以下のように設定します。

タイプ名： 標準 上
記号： B_規格_レベル：▽上付き
タイプ名： 標準 上 高さ
記号： B_規格_レベル：▽上付き_高さ
タイプ名： 標準 下
記号： B_規格_レベル：△下付き
タイプ名： 標準 下 高さ
記号： B_規格_レベル：△下付き_高さ
タイプ名： 標準 水位
記号： B_規格_レベル：水位記号
タイプ名： 標準 高さ制限
記号： B_規格_レベル：▽上付き

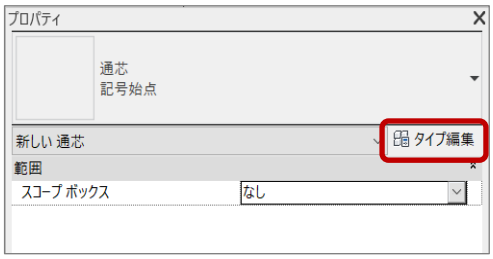
▼修正結果



※本手順で一時的に作成した断面図ビューはテンプレートの内容として不要であるため、設定後に削除してください。

＜通芯記号＞

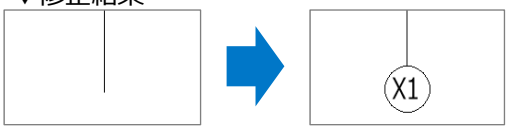
1.) ビュー → 建築 → * 作業用 → 平面図 → 作業用 1階 を開きます。
2.) [建築]タブ → [基準面]パネル → [通芯]ツールをクリックします。
3.) プロパティより[タイプ編集]を開きます。



4.) タイプごとのグラフィックスを以下のように設定します。

タイプ名： 記号なし
　記号： B_規格_通芯：○3.5mm_Meiryo1.5mm
タイプ名： 記号両端
　記号： B_規格_通芯：○3.5mm_Meiryo1.5mm
タイプ名： 記号始点
　記号： B_規格_通芯：○3.5mm_Meiryo1.5mm
タイプ名： 記号終点
　記号： B_規格_通芯：○3.5mm_Meiryo1.5mm

▼修正結果

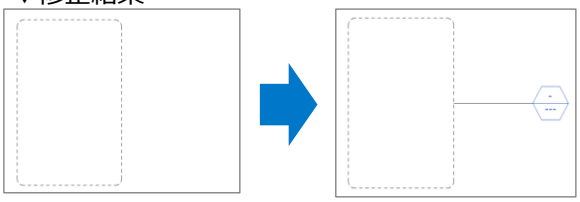


＜吹き出しタグ＞

1.) [管理]タブ → [設定]パネル → [その他設定] → [吹き出しタグ]を開きます。
2.) タイプごとのグラフィックスを以下のように設定します。

タイプ名： なし
　部分詳細記号： <なし>
タイプ名： 六角
　部分詳細記号： B_規格_吹出_六角
タイプ名： 呼出記号
　部分詳細記号： B_規格_吹出_六角

▼修正結果

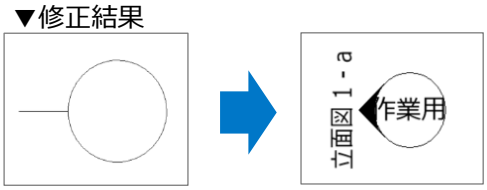


＜立面タグ＞

1.) [管理]タブ → [設定]パネル → [その他設定] → [立面タグ]を開きます。
2.) タイプごとのグラフィックスを以下のように設定します。

タイプ名： シート番号
　立面記号： B_規格_立面_ボディ_6mm：番号
タイプ名： ビュー名
　立面記号： B_規格_立面_ボディ_6mm：ビュー名
タイプ名： 作業用
　立面記号： B_規格_立面_ボディ_6mm：作業用

▼修正結果



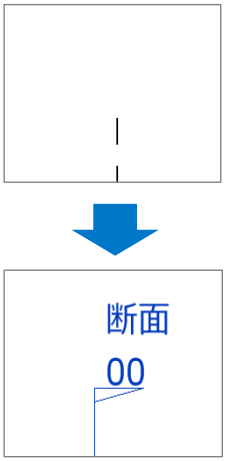
＜断面タグ＞

1.) [管理]タブ → [設定]パネル → [その他設定] → [断面タグ]を開きます。

2.) タイプごとのグラフィックスを以下のように設定します。

タイプ名： なし
断面記号(頭)： ＜なし＞
断面記号(尾)： ＜なし＞
タイプ名： レイアウト
断面記号(頭)： B_規格_断面_レイアウト：○3.0_レベル名_1.5mm
断面記号(尾)： B_規格_断面：▲1.5x4.0
タイプ名： 作業
断面記号(頭)： B_規格_断面：△1.0x4.0_ビュー名_2.0mm
断面記号(尾)： B_規格_断面：△1.0x4.0_ビュー名_2.0mm
タイプ名： 展開
断面記号(頭)： B_規格_断面：▲1.0x2.0_ビュー名_1.0mm
断面記号(尾)： B_規格_断面：▲1.0x2.0_ビュー名_1.0mm
タイプ名： 施工
断面記号(頭)： B_規格_断面：▲1.5x4.0_詳細番号_1.5mm
断面記号(尾)： B_規格_断面：▲1.5x4.0
タイプ名： 矩形
断面記号(頭)： B_規格_断面：▲1.5x4.0
断面記号(尾)： B_規格_断面：▲1.5x4.0

▼修正結果



④ ファミリの編集-1

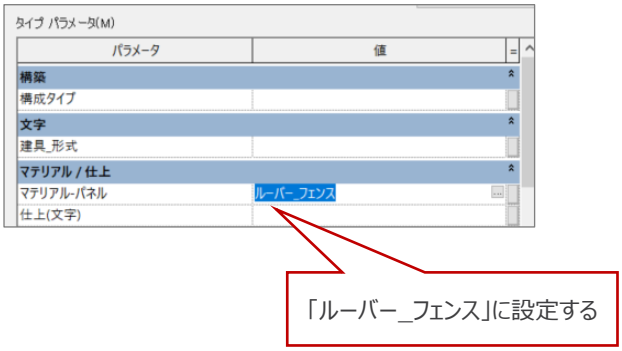
以下のファミリを削除します。

カテゴリ： 注釈記号
ファミリ： B_図枠_A3横_建築_一般_帯縦1
B_規格_タイトル_L1
B_規格_タイトル_R1
B_規格_吹出_六角1
B_規格_断面1
規格 断面 番号

ファミリの編集-2

以下のファミリタイプのマテリアルを設定します。

カーテンパネル → B_CP_FIX_パネル → フェンス

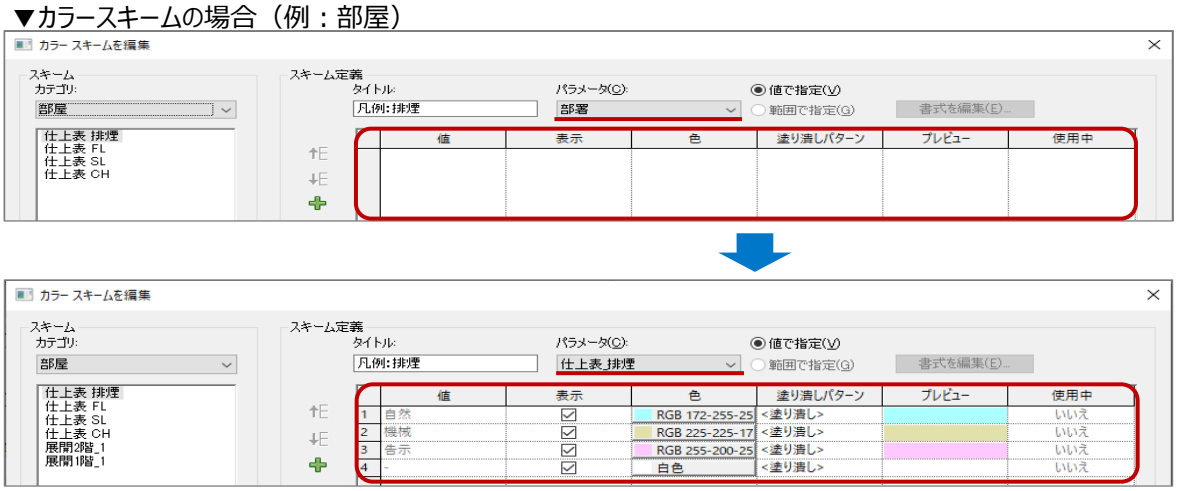


⑤ プロジェクト標準を転送 による設定更新

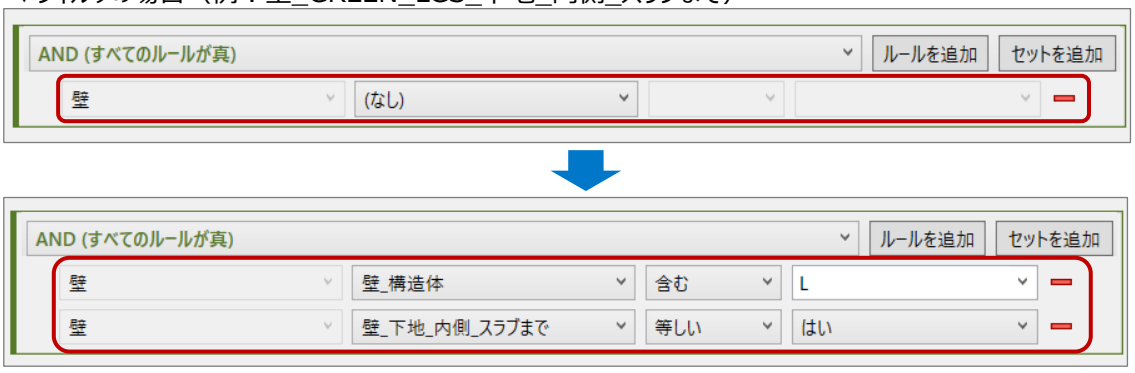
正式版テンプレートの一部設定内容を編集中のテンプレートに取り込みます。

1.) [ファイル]タブ → [新規作成]ツールより、プロジェクトを作成します。
　プロジェクトテンプレートは「BooT.one建築構造テンプレート」を選択します。
2.) テンプレート更新を行っているプロジェクトに戻ります。
3.) [管理]タブ → [設定]パネル → [プロジェクト標準を転送]ツールより、手順1.)で作成したプロジェクトがコピー元になっていることを確認の上、以下の10項目を選択してコピーします。
　　カラースキーム、カーテンウォールのタイプ、スラブ ハンチ設定、フィルタ、マテリアル
　　塗り潰し領域のタイプ、床タイプ、手すりタイプ、樋設定、鼻隠し設定
4.) 重複タイプのメッセージは[上書き]をクリックします。
5.) 選択した項目にて、正式版テンプレートの設定内容が再現されます。

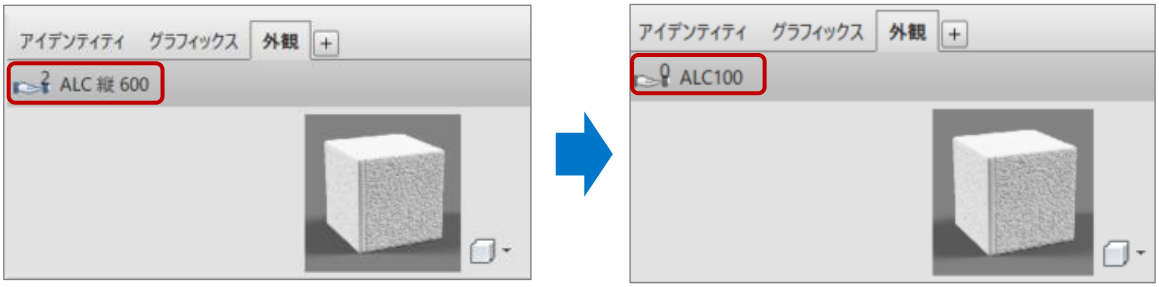
▼カラースキームの場合（例：部屋）



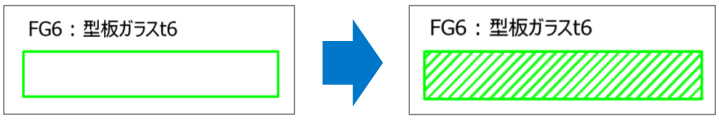
▼フィルタの場合（例：壁_GREEN_LGS_下地_内側_スラブまで）



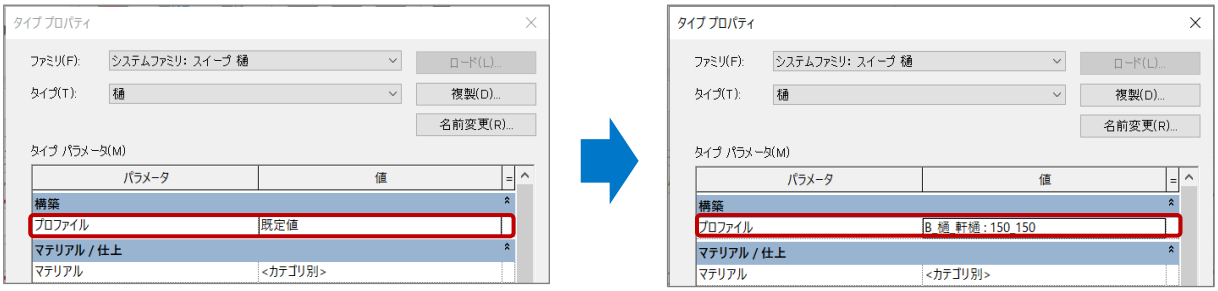
▼マテリアルアセットの場合（例：マテリアル「ALC100」）



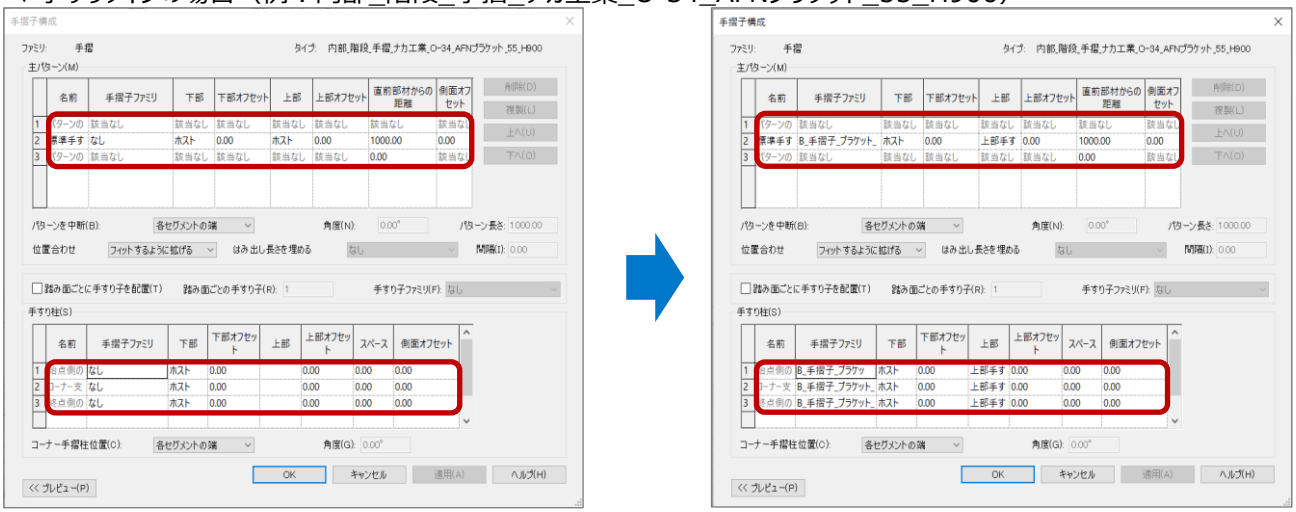
▼塗り潰し領域のタイプ（例：23 ガラス種別）



▼プロファイルの割り当て（例：樋の設定）



▼手すりタイプの場合（例：内部_階段_手摺_ナカ工業_O-34_AFNブラケット_55_H900）

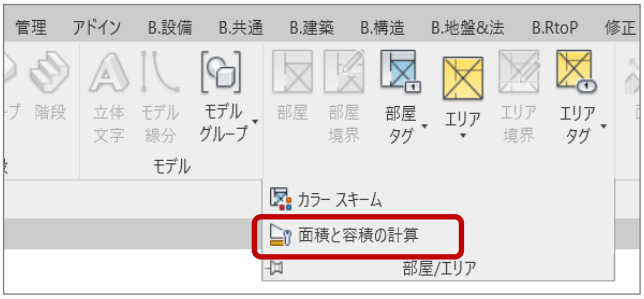


6.) [プロジェクト標準を転送]ツール実行後、再度[テンプレート更新]ツールを使用し、必要な設定データを更新します。
※[プロジェクト標準を転送]ツールでコピーすると重複してしまうファミリがあるため、[テンプレート更新]ツールを使用し、最後にファミリの上書きコピーを実施します。
[B.共通]タブ → [メンテナンス▼] → [テンプレート更新]ツールをクリックします。
p.4 ■設定の再現手順 で展開したzipフォルダ内のテキストデータ「再現データ_20**_3回目.txt」を取り込みます。

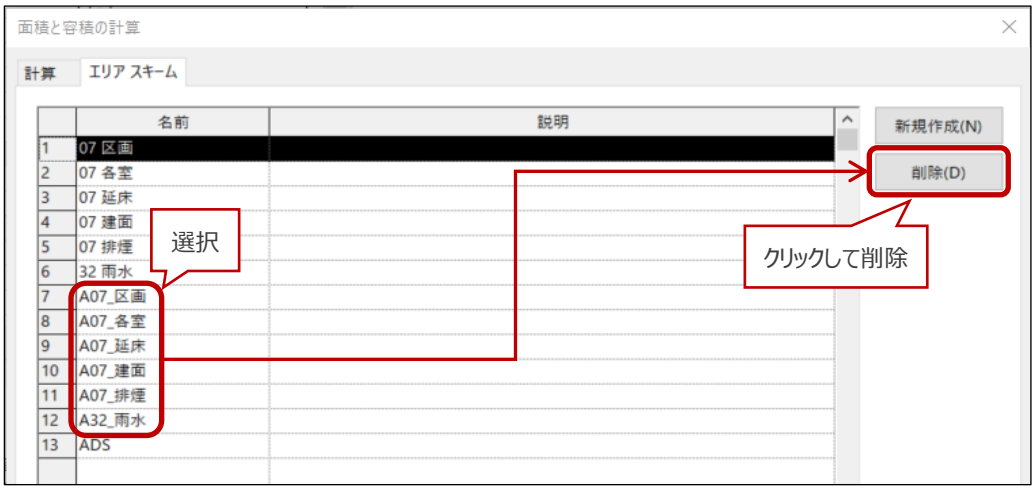
7.) [実行]をクリックし、設定データを更新します。

⑥ エリアスキームの削除

1.) [建築]タブ → [部屋/エリア▼]パネル → [面積と容積の計算]をクリックします。



2.) [エリア スキーム]タブを開き、以下の設定を削除します。
[A07_区画][A07_各室][A07_延床][A07_建面][A07_排煙][A07_雨水]



⑦ 塗り潰しパターンの編集

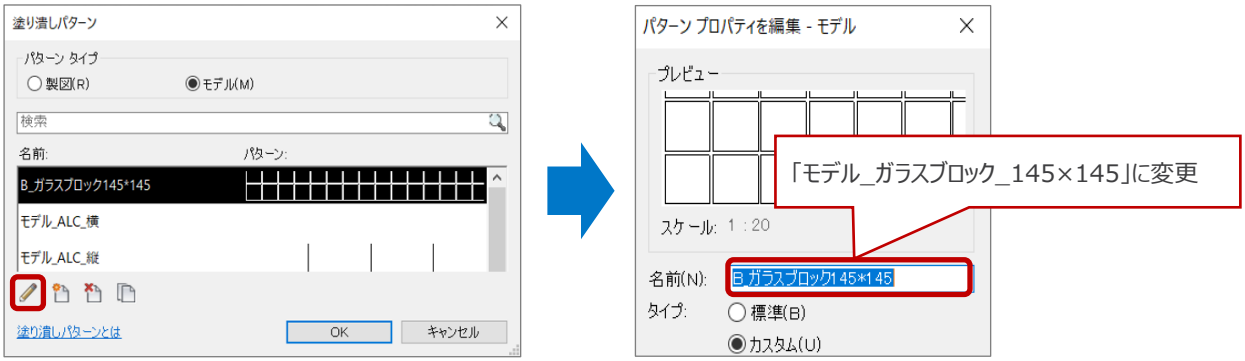
1.) [管理]タブ → [設定]パネル → [その他の設定] → [塗り潰しパターン]を開きます。

2.) 以下のパターンの名称を変更します。

パターンタイプ：モデル

＜変更前＞　B_ガラスブロック145*145

＜変更後＞　モデル_ガラスブロック_145×145



本手順での設定内容は以上になります。

必要に応じて、別紙「BooT.oneテンプレート変換手順書(任意設定)_ver2.9.0.pdf」の対応もご検討ください。

※なお、本手順書はBooT.one ver2.9.0時点でのご案内内容になります。